

小山工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	歴史学（リベラルアーツ）	
科目基礎情報							
科目番号		0096		科目区分		一般 / 必修	
授業形態		講義		単位の種別と単位数		学修単位: 2	
開設学科		建築学科		対象学年		4	
開設期		前期		週時間数		2	
教科書/教材		とくに指定しない。プリントを配布する。					
担当教員		長峰 博之					
到達目標							
1. 歴史上のさまざまな問題について考察し、理解できる。 2. 歴史上のさまざまな問題についての自分の考えを述べることができる。 3. 歴史的思考力を養い、自分で設定したテーマについて調査し、プレゼンテーションを行うことができる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		歴史上のさまざまな問題について考察し、正確に理解できる。		歴史上のさまざまな問題について考察し、理解できる。		歴史上のさまざまな問題について考察し、理解できない。	
評価項目2		歴史上のさまざまな問題についての自分の考えを正確に述べることができる。		歴史上のさまざまな問題についての自分の考えを述べることができる。		歴史上のさまざまな問題についての自分の考えを述べることができない。	
評価項目3		歴史的思考力を養い、自分で設定したテーマについて正確に調査し、プレゼンテーションを行うことができる。		歴史的思考力を養い、自分で設定したテーマについて調査し、プレゼンテーションを行うことができる。		歴史的思考力を養い、自分で設定したテーマについて調査し、プレゼンテーションを行うことができない。	
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 ① JABEE (D)							
教育方法等							
概要		歴史上、これまで議論が重ねられてきた問題を取りあげ、それに関するさまざまな見解を学ぶ。そのような作業を通じて、さまざまな社会的事象に思考し、自分の意見を述べる訓練をする。					
授業の進め方・方法		授業は配布プリントを中心に、受講者との議論を交えながら行う。授業ごとにリアクションペーパーを課す。受講者は歴史上の興味のあるテーマについて調査し、プレゼンテーションを行う。到達目標 1～3、中間・期末2回の試験点80点、リアクションペーパー10点、プレゼンテーション10点の合計点（100点満点）が60%以上の場合、達成とする。					
注意点		歴史は暗記ではなく、思考する学問である。受講者にはさまざま論題について思考してもらい、議論してもらう。自分でテーマを設定して調査し、プレゼンテーションを行ってもらう。一つのものごとについて徹底的に調査し思考することを体感してほしい。また何よりも大切なことは、楽しみながら学ぶことである。					
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス：歴史学とは何か		左記内容を理解する		
		2週	邪馬台国論争		左記内容を理解する		
		3週	アンコール・ワットへの道		左記内容を理解する		
		4週	「世界史」の世界史		左記内容を理解する		
		5週	地図の世界史		左記内容を理解する		
		6週	プレゼンテーション①		左記内容を理解する		
		7週	プレゼンテーション②		左記内容を理解する		
		8週	中間試験		左記内容を理解する		
	2ndQ	9週	ヨーロッパ中世への旅		左記内容を理解する		
		10週	モンゴル帝国と世界史		左記内容を理解する		
		11週	源義経/成吉思汗也？		左記内容を理解する		
		12週	足利氏と日本史		左記内容を理解する		
		13週	脱「小山評定」どうでしょう？：小山氏と小山市		左記内容を理解する		
		14週	プレゼンテーション③		左記内容を理解する		
		15週	プレゼンテーション④		左記内容を理解する		
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	社会	地理歴史的分野	世界の資源、産業の分布や動向の概要を説明できる。		3	
				民族、宗教、生活文化の多様性を理解し、異なる文化・社会が共存することの重要性について考察できる。		3	
				近代化を遂げた欧米諸国が、19世紀に至るまでに、日本を含む世界を一体化していく過程について、その概要を説明できる。		3	
				帝国主義諸国の抗争を経て二つの世界大戦に至る日本を含む世界の動向の概要を説明し、平和の意義について考察できる。		3	
				第二次世界大戦後の冷戦の展開からその終結に至る日本を含む世界の動向の概要を説明し、そこで生じた諸問題を歴史的に考察できる。		3	

				19世紀後期以降の日本とアジア近隣諸国との関係について、その概要を説明できる。	3	
評価割合						
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	合計
総合評価割合	80	10	0	0	0	100
基礎的能力	80	10	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0